

製品名: ラムダ 5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13187**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	IGLL1 IGLL1; IGL1; Immunoglobulin lambda-like polypeptide 1; CD179 antigen-like family member
別名	B; Ig lambda-5; Immunoglobulin omega polypeptide; Immunoglobulin-related protein 14.1; CD179b
遺伝子 ID	3543.0
SwissProt ID	P15814
免疫原	抗血清はヒト IGLL1 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

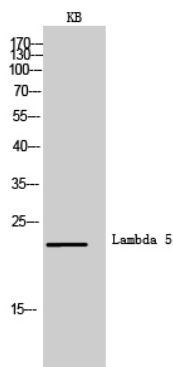
背景

免疫グロブリンラムダ様ポリペプチド 1 (IGLL1) ホモサピエンス preB 細胞受容体は proB 細胞と preB 細胞の表面に存在し、細胞増殖のシグナル伝達、proB 細胞から preB 細胞段階への分化、Ig 重鎖遺伝子座位での対立遺伝子排除、Ig 軽鎖遺伝子再構成の促進に関与している。preB 細胞受容体は、膜結合型 I μ 重鎖とヘテロ二量体の代替軽鎖から構成される。この遺伝子は代替軽鎖サブユニットの 1 つをコードしており、免疫グロブリン遺伝子スーパーファミリーのメンバーである。この遺伝子は再構成されない。この遺伝子の変異は、B 細胞欠損症や無ガンマグロブリン血症（ガンマグロブリンまたは抗体がほとんどまたは全く作られない常染色体劣性疾患）を引き起こす可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: IGLL1 遺伝子の欠損は、常染色体劣性非ブルトン型無ガンマグロブリン血症 (MIM:601495) の原因となる。無ガンマグロブリン血症と B 細胞数の顕著な減少を特徴とする。、オンライン情報: IGLL1 変異データベース、類似性: Ig 様 C1 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: VPREB1 と非共有結合する。、組織特異性: プレ B 細胞および表面 Ig 陰性の特殊な B 細胞株でのみ発現する。、

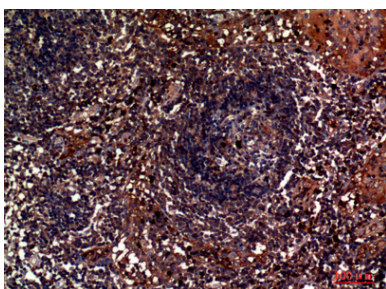
研究分野

原発性免疫不全症;

画像データ



ラムダ 5 ポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒトリンパの免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された